

大草谷津田いきものの里 自然観察会

ホタルのお宿は？

石嶋基次（千葉市）

日 時：2011年7月17日（日）10:30～12:00 天候 晴れ

参加者：18名（大人10名 子ども8名）

担当指導員：木下順次・石嶋基次

近隣の学校が夏休みに入った最初の日曜日、ときどき雲が太陽を遮るものの、とても暑い快晴の夏日でした。開始時間の時は一家族4名しか参加者がいないので、少し心配しましたが、観察会の説明を開始する前後に集まり、最終的には18名になりました。

当面の目標が「ホタルやメダカと共に暮らす里づくり」として出来た場所での主役のヘイケボタルに関する観察会を昼間に行うのは難しい事でしたが、経験豊かな木下指導員の用意周到な説明資料の準備によりヘイケボタルの自生地として環境豊かな大草谷津田の重要性を参加者に理解してもらいました。



1. 前夜参考採取したヘイケボタルを観察しながらホタル総論の説明。
2. 7月12日（火）の11年度1回目のホタル調査及び昨年度の調査結果を参考に発生数の多い場所の自然環境を観察。（田圃、水路、畔草、樹木、湧水）
3. ホタル自生地に欠かせない水について各種実験の実施。（Dr木下白衣で登場）
水温、残留塩素、PH、COD（湧水、牛乳、洗濯排水、池の水、水道水）
4. 斜面林から染み出る水にゲンジボタル以外の生き物がいるのか体験をしてもらう。
水路に手を入れて冷たさを体感、水路の中でサワガニやカワニナを採取、近くの樹木でオニヤンマの羽化殻を観察、水生生物の食物連鎖など豊かな自然の必要性を説明。
5. 里山や谷津田は昔から地域の住民が絶えず手入れをして維持して来たお蔭で良い自然が残されています。この事を忘れずに自然を守る心を持ってほしいと要望。

暗闇に光るホタルの幻想的な魅力を感じてもらうのは実際に見て貰うのが一番です。次回のホタル調査が19日（火）にあるので、感動を味わってほしいと案内をしましたが、生憎天候不順で中止になり実現出来ませんでした。残念！！ 昼間見て、夜見て、お宿がわかります。

《参加者の感想》

ホタル、トンボ、カエル、サワガニ等生き物ものとの出会いが楽しかった夜のホタルも観察したい／里山風景が残っていること知り、また来たい。

《担当者感想》

家族参加で楽しんでもらえた。樹林ではハグロトンボが多く、谷津田上空ではオニヤンマが複数飛翔、散策路周辺ではオオシオカラトンボが多く、子どもたちには好評。

夏季の観察時間を早める事を検討しては如何？ JCN千葉の取材に協力、効果は？

